

『第 32 回安藤博記念学術奨励賞』の受賞

受賞概要：

安藤博記念学術奨励賞は、電子工学の基礎を築いた発明家安藤博の研究ならびに発明の功績を記念し、エレクトロニクスと電子産業の育成と発展に寄与することを目的とした賞です。エレクトロニクス分野において、独創的・萌芽的な研究活動を行っている若手研究者に与えられます。授賞式及び受賞講演が令和元年 6 月 29 日に執り行われました。

受賞テーマ：機能性化合物単結晶成長技術の確立

半導体材料に代表される Si とは異なり、3 元素以上から構成される機能性化合物材料開発を行ってきました。機能性化合物は、元素の組み合わせにより太陽電池やトランジスタに代表される半導体デバイスの特性を格段に向上出来るポテンシャルを持つ一方で、複数の構成元素をそれぞれ制御しながら材料を作製することは非常に困難です。

本研究では、様々な機能性化合物の高品質で大型な単結晶成長を確立し、それらを用いて信頼性のある基礎研究から半導体デバイス開発まで行っています。特に環境負荷の小さい太陽電池材料として期待されている $\text{Cu}_2\text{ZnSnS}_4$ 単結晶成長を世界で初めて実現しています。エネルギー問題を解決するためのこれらの成果は、宮崎大学独自の結晶成長技術が大きく貢献しています。独自性のあるこれらの機能性化合物単結晶を用いて国内外の研究機関と宮崎大学主体で共同研究を行っており、今後も宮崎から世界へ研究成果を発信していきます。

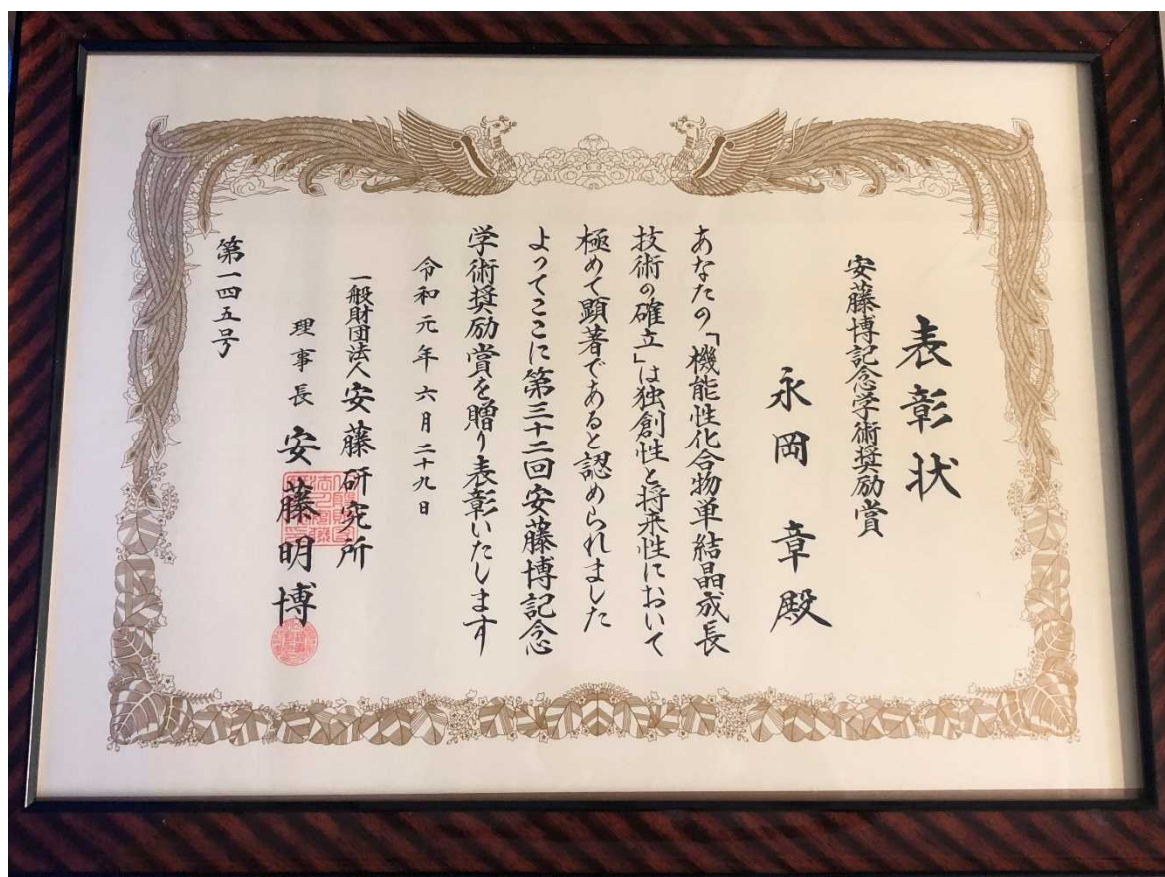


授賞式の様子 右側 1 番目に永岡 章 助教

【詳細】

主 催：一般財団法人 安藤研究所

受賞者：工学教育研究部 環境・エネルギー工学研究センター 永岡 章 助教



表彰状